兵庫県スマートシティモデル事業概要

スマートシティの実現に向け、ICT・データを活用した「スマートシティモデル事業」を展開

- ・ 以下の条件に該当する市町をモデル地区として公募 ※1:テーマ毎に既存組織の有効活用も可。
 - 組成されていない場合は、令和4年度内に組成すること。
 - 地域特性に応じた課題に対する新たな取組に意欲がある
 - 企業・大学等と共創したスマートシティの取組を視野に入れている
 - 市町・関係事業者・団体等により地区コンソーシアムが組成されている**1
- ・ 県を中心に、各地区コンソーシアム・企業・団体等により県コンソーシアムを組成
- 県コンソーシアム構成団体が連携してモデル地区の取組を推進。成果を県内市町に展開

各モデル地区の具体的実証事例※2 ※2: 各モデル地区内の複数テーマに対し、県として支援するテーマは協議の上、選定

A市(スマートツーリズム)

観光

鉄道、自動車による人流 データ分析によるマーケ ティング(ドライブレコー ダー位置データ、交通系IC 利用データ活用)



B市(スマートヘルスケア)

健康

- ・運動量計測に よるバイタル データ把握 匂いデータ
- A用による 軽度認知症予防



スマート兵庫の仕組みづくり

C市(スマートエネル

エネルギー

- ・再エネ、蓄電池、EV活用、 PPA、耕作放棄地やため池 等におけるソーラーシェアリング、 エリア内電力見える化
- ・地産地消型・分散型エネル ギーシステム構築、地域 マイクログリッド実証事業





D市(バーチャル市役所)

オンライン窓口

- ・AI等を活用した土日 祝日・24時間対応可 能な窓口設置
- ・チャット等の問合せ 内容分析によるFAQ





課題設定と体制構築 (第1フェーズ)

- ・モデル地区を選定
- ・モデル事業として課題を設定
- ・地区コンソーシアム、県コン ソーシアムを組成

実証内容の策定(第2フェーズ)

- 実証実験内容及び役割分担の決定
- ・各主体の持つ知見・技術・アセッ ト等の活用、データ標準化・連携 方法等の検討
- ・実証実験の仕様及び実施に恒の策定

実証実験の実施〈第3フェーズ〉

- ・参加主体の連携による実証実 験の実施
- ・実証データの分析及び実装化 に向けた検証(実証実験内容に もフィードバック)

役割分担

市町 【スマートシティ主体】

地区コンソーシアム運営(事務局)

- ・住民サービス提供、アセット整備
- ・住民向け説明・情報発信

連携

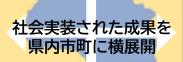
県 【コーディネート・取組支援】

- ① 県コンソーシアム運営(事務局)
 - ・利活用データ標準化
 - ・データ連携方法の調整
 - ・最新の動向調査、技術情報の展開
 - ・成果の県内市町への展開
- ② 各モデル地区コンソーシアムの 運営支援
 - ・技術知見を持つ専門家の確保
 - ・アセット・知見を持つ企業・大学等 とのマッチング

連携

企業・大学等 【技術等供与】

- ・技術的アセット、ノウハウ提供
- ・技術者やセミナー講師の派遣
- ・資金、ライセンス等の提供



実装へ